

休み時間の様子

梅雨の時期は外で遊べる時間が限られ、どうしても校舎内で過ごすことが多くなります。教室内の遊びやお友だちとの会話はもちろん楽しいですが、体を動かしたいという気持ちは常に溢れ続けていますので、僅かな休み時間でも体育館でボール遊びなどをして汗を流します。

「よく遊ぶ」からこそ「よく学べる」ということを子どもたちは体験的によく分かっているのだと感じます。



変わりやすい梅雨空は、時に思いがけない晴れ間と雨に濡れて輝く美しい風景を与えてくれます。外遊びが出来る時は、教室に誰も残っていないということもあります。



森の遊具は学年に関係無く大人気です。遊具に向かって全力で駆けていく姿が休み時間の始まりを知らせてくれます。



屋上では、ボーリング遊びをしていました。想像力を使って、遊びをより良く出来る力は子ども特有のものでしょうか。



羊のお世話をしているお友だちを見かけたら、遊びを止めてお手伝いに加わることもあります。自分がしたいと思ったことを出来る時間、それが休み時間のあるべき姿ではないでしょうか。